

第 69 回鳥取県保育推進研究大会

開 催 要 項

「こどもまんなか社会の実現に向けて ～今、私たちにできること～」

1. 趣 旨

少子化の進行と人口減少、地域や家庭での養育力の低下、子育て家庭の孤立化、子どもの貧困、児童虐待など、子どもと子育てをめぐる環境の変化や対応が、社会的な課題となり、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みが進められています。保育所、認定こども園等が、その機能を活かして、地域子育て家庭への支援を行うことが期待され、その役割が大きくなっています。

また、こども家庭庁は「保育政策の新たな方向性」として、政策の軸を「量」から「質」へ転換することを示しました。保育の社会的意義や役割を改めて確認したうえで、多様化する社会のニーズに応えていくよう、保育の「質」の確保・向上や子どもの育ちの保障をめざしていく必要があります。本県における保育情勢におきましても、同様の傾向がみられ喫緊の課題となっており、その対応が求められているところです。

本大会では、こうした保育をめぐる情勢を踏まえ、人格形成において最も重要な時期である乳幼児期の子どもにかかわる保育者として、子どもの安心と安全を図ることはもとより、保育実践の一層の向上をめざし、保育の専門性と質を高めていくことを目的に開催いたします。

2. 主 催 鳥取県子ども家庭育み協会

3. 後 援 (予定) 鳥取県、倉吉市、鳥取県教育委員会、鳥取県社会福祉協議会

4. 期 日 令和8年 1 月 17 日 (土)

5. 会 場 県立エースバック未来中心 ほか

倉吉市駄経寺町 212-5 TEL 0858-23-5390

※第4分科会は、会場を移動いただきます。

【会場】県立美術館 倉吉市駄経寺町 2-3-12

6. 対 象 者 鳥取県内保育所(園)・認定こども園職員、幼稚園教職員、養護関係、児童福祉関係者 約300名

7. 日 程

12:30～ 受 付

13:00～13:15 開会式（主催者挨拶、表彰式）

13:15～14:45 講 演

14:45～15:00 休憩・移動

15:00～16:30 分科会

16:30～ 閉 会

講 演

「デジタル・AI 時代における子どもの育ち

－『集団共同型子育て』の再生に向けて－」

講師：東京大学大学院教育学研究科 教授 遠藤 利彦 氏

第1分科会

ICT 技術の進化とインターネットの普及によって、社会や生活が大きく変化している昨今、情報化社会と称されデジタル技術が社会の隅々まで浸透しています。それは、私たちの生活やビジネスのあり方を根本的に変え、社会の構造や人々の価値観にも影響を与えています。様々な変化への対応力が求められ、柔軟な思考と学習意欲を持つことが大切だと言われる一方で、子育てにおいて「愛着関係の形成」は変わらない普遍的なものであり、子どもの発達において重要な役割を果たします。子どもとその養育者との間で形成される絆、安定した信頼関係をどう築いていくか、私たちにできる具体的な支援について、学びを深めることを目的として開催いたします。

「アタッチメントの視点から

子育て・子育ての原点に立ち返る」

講師：東京大学大学院教育学研究科 教授 遠藤 利彦 氏

第2分科会

近年、大きな災害が多発する中で、児童福祉法の一部改正に伴って「保育所等における安全計画の策定」が義務化され、BCP（事業継続計画）の作成も努力義務とされました。組織的に災害対策を考え、安心安全を守る時代がきています。

鳥取地震（1943年）、鳥取県西部地震（2000年）、鳥取県中部地震（2016年）等私たちの住む鳥取県も度々災害に見舞われています。一人一人が防災意識を高め、日頃から備えをすることで被害を最小限に抑えることができます。園として、大切な命、子どもの成長を守るために、いつ起こるかわからない災害に対してどのような対策をし、どのように備えるのか、そして被災後に保育の機能を維持するために必要なこととは何か、自分の園のこととして共に考えていきたいと思います。

「子どもの命を守る、安心安全な園であり続けるために」

～今、私たちにできることは何か？～

講師：一般社団法人保育の寺子屋 代表理事 **藤實 智子** 氏

第3分科会

近年、保育園における食育活動は各園で日々工夫を重ねて取り組んでいますが、活動が同様の内容に偏りやすく、次第にマンネリ化している傾向も見られます。

第3分科会では、改めて食育の意義を確認するとともに、近年の食育活動の実践例を学ぶことで、子どもたちが主体的に活動することができ、より関心を持ち、楽しみながら食に親しむことのできる指導のあり方を考える機会となるよう開催いたします。

「子どもが食に親しむための食育活動」

～実践から学ぶ新しい工夫～

講師：鳥取短期大学生活学科食物栄養専攻 助教 **石賀 安枝** 氏

第4分科会 【定員】25名（先着順）

2025年3月30日に日本で最も新しい美術館が鳥取県倉吉市に誕生しました。鳥取県立美術館です。鳥取県立美術館には、アートを通じた学びの研究室「アート・ラーニング・ラボ『A.L.L.』（オール）」が開設されています。

第4分科会では、会場を鳥取県立美術館に移し、美術館に展示されている作品を鑑賞者同士が対話しながら鑑賞を深める「対話鑑賞」をとおして、自分と作品との間に新たな価値を作り出します。「対話鑑賞」で本物を見て、感じて、言葉にし、語り合うことで、自身の感性を開き、多種多様な価値観に気づき、日々の保育のなかで、子どもたちと造り出す、物造りに対するコミュニケーション能力や観察の視点を深めていきます。

「対話鑑賞」～本物との出会い～

講師：鳥取県立美術館 教育普及担当専門員 **佐藤 真菜 氏**

8. 参加申し込みについて

参加申し込みフォーム（Google フォーム）からお申し込みください。分科会のご希望は、第2希望まで入力をお願いいたします。会場の都合上、ご希望に沿えない場合がありますことをご承知ください。

お申し込み後、ご登録のメールアドレスにお申し込み内容の確認メールが届くよう設定しておりますが、万一届かない場合は、入力されたメールアドレスの間違いなどの可能性があります。数時間経っても確認メールが届かない場合には、再度お申し込みをいただくか、下記事務局までご連絡をお願いいたします。

<https://forms.gle/NpcyHffgqfjKKCh99>



【申込期限】令和7年12月2日（火）

9. 託児について（事前申し込み必要）

託児をご希望される場合は、参加申し込みフォームの通信欄からお申し出ください。

託児料は無料ですが、お子さまの着替え、おやつ等は各自でご準備をお願いいたします。

10. 参加費

（1）参加費 無料

（2）その他 参加にかかる交通費、昼食代等は、各自でご負担ください。

11. 個人情報の取り扱い

申し込みフォームに入力された個人情報は、本事業実施の目的にのみ利用いたします。

12. お問い合わせ・お申し込み先

鳥取県子ども家庭育み協会 事務局

〒689-0201 鳥取市伏野 1729-5

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会 福祉振興部内

TEL 0857-59-6344 / FAX 0857-59-6341 / E-mail torihagu21@tottori-wel.or.jp